

大山崎町総合計画町民ワークショップ 開催結果報告書

《目次》

1 町民ワークショップの開催結果概要	1
（1）当日のプログラム	2
（2）テーマ別の主な意見	2
（3）各グループの意見	4
資料	7

令和7年 8月

大山崎町

1 町民ワークショップの開催結果概要

現在、大山崎町では、令和8年度から令和17年度を計画期間とする第5次総合計画の策定を進めています。

次期総合計画策定にあたっては、「町民によるまちづくり」の視点から、大山崎町の将来都市像等について、町民の皆さんのご意見を広く聴取することを目的として、町民アンケート、町民ワークショップ及びパブリックコメントにより、積極的にご意見をいただく機会を設けることとしました。

町民ワークショップは、以下の日程で、幅広い世代、様々な職業の方々に構成するグループに分かれ、テーマごとの取組やアイデアについてのご意見をいただきました。

回	日時	場所	参加人数
第1回	令和7年8月7日(木) 10:00~12:00	大山崎町中央公民館	Aグループ：4名 Bグループ：4名
	令和7年8月7日(木) 13:30~15:30		Cグループ：4名

今回の町民ワークショップには、町民公募を募り、12名の方にご参加いただきました。

どのグループにおいても大山崎町をよりよくするための取組やアイデアについて、活発な意見交換が行われ、次期総合計画策定の参考となる貴重なご意見を多数いただきました。

(1) 当日のプログラム

ア 総合計画の趣旨説明

イ 大山崎町の現状説明（人口の推移やアンケート調査の結果）

ウ ワークショップの説明

エ ワークショップ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

(ウ) テーマ3 3つの視点（ひと・まち・しごと）ごとの取組・アイデア

(2) テーマ別の共通意見

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

(ア) 安全で住みやすいまち

(イ) 災害に強いまち

(ウ) 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち

(エ) 地域のつながりあり、安心できるまち

(オ) 自然や歴史を活かしたまち

(カ) 交通や生活の利便性が整っているまち

(キ) 地域の交流や文化が豊かなまち

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

(ア) 【強み】

- a 交通のアクセスの良さ (大阪・京都へのアクセスが非常に良い)
- b 自然環境 (山や川、里山が近く自然が豊か)
- c 子育て・教育環境 (保育所・学童が充実していて子育てがしやすい)
- d 歴史・文化 (天王山・大山崎の文化)

(イ) 【弱み】

- a 道路・歩道の不備 (道路が狭い、ガタガタしていて通りにくい)
- b 商業・生活の利便性不足 (スーパーや買い物場所が少ない)
- c 知名度・魅力発信の弱さ (大山崎町の知名度や魅力度が低い)
- d 町政・行政への不満 (町民の意見が反映されにくい)

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと)ごとの取組・アイデア

(ア) ひと(福祉、子育て・教育、健康・医療)

- a 子育て支援の充実
- b 教育の質の向上と多様化
- c 人材の活用と参加促進
- d 地域での交流・学びの場

(イ) まち(コミュニティ・文化・自然・防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- a 情報発信の強化
- b 公共施設の柔軟な活用
- c 地域のつながりの再構築
- d 自然・公園の活用

(ウ) しごと(農商工産業振興・観光・就労)

- a 観光資源の活用・発信
- b 柔軟な働き方支援
- c 地域経済の活発化

(3)各グループの意見

Aグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

- a 駅前が発展するとよい
- b こどもがたくさんある
- c 歩いて買いに行けるお店が増えると良い
- d 京都府内で一番有名に！

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| a 《強み》
(a) 京都・大坂へのアクセスが良い
(b) 文化的な所が多い
(c) 山・川、自然が多い
(d) 学童保育の充実 | b 《弱み》
(a) まちのイベントが少ない
(b) 道が狭くガタガタ
(c) 天王山の頂上に眺望がない
(d) フォトスポットが少ない |
|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 図工など自分で考える授業
- (b) 総合病院をつくる
- (c) 介護施設を増やして皆が行きやすい場所をバランスよくつくる
- (d) 役所のみなさんのやりがいアップ

b まち (コミュニティ・文化・自然・防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) バラバラの図書館を1つの充実した大きい図書館にする
- (b) 最上階レストラン
- (c) 避難場所の認知
- (d) 広報の強化 (こども広報の作成など)

c しごと (農商工産業振興・観光・就労)

- (a) 観光向けフォトスポットがすぐ分かる案内板
- (b) 大山崎町で映画をつくる
- (c) 高級住宅街をつくる
- (d) 大山崎町を代表する会社とのコラボ

Bグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

- a 人口が増えればよいと思う
- b コミュニティバスの運行を増やした方がよい
- c 子育てが変わらずしやすいまち
- d 安全・治安がもっと良くなる

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

- | | |
|------------------|-------------|
| a 《強み》 | b 《弱み》 |
| (a) 交通(車)の便がよい | (a) 知名度が低い |
| (b) 自然に恵まれている | (b) 特産物がない |
| (c) 大山崎町音頭を皆が踊れる | (c) 働く場所がない |
| (d) おもしろいお店が多い | (d) 女性支援が弱い |

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 人権教育をしてほしい
- (b) 探究塾学習
- (c) 女性の相談員 LINE 相談窓口
- (d) 保育士、学童支援員の正職化

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) 芸術祭や文化祭の開催(写真・絵・造形物など)なんでも
- (b) バス土日運行
- (c) 里山整備
- (d) 歩道を広く(歩行者に配慮した整備)

c しごと (産業振興、観光)

- (a) 食堂(夏休みなどの期間)
- (b) 観光センターをつくってほしい
- (c) 産業観光ツアー
- (d) 特産品の開発 アイスコーヒー

Cグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

- a 子どもが安心して過ごせる場所があるまち
- b 災害に強いまち
- c 休みの日も1日大山崎町内で楽しく過ごせるまち
- d 大山崎町の良さを町民が理解できるようにしたい

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

- | | |
|----------------------|--------------------|
| a 《強み》 | b 《弱み》 |
| (a) 町営の保育が充実している | (a) タイムズ(ガレージ)が少ない |
| (b) JR、阪急、高速 交通の便がよい | (b) 川遊びができない |
| (c) 地価が安く通勤、通学に便利 | (c) 防犯カメラの設置が少ない |
| (d) 歴史がある | (d) 公園の整備が行き届いていない |

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 保育所の長時間化
- (b) 皆がオープンに生活できる
- (c) 声を掛け合って子育てができるまち
- (d) 専門的知識を持つ人材の活用

b まち (コミュニティ・文化・自然・防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) ラインの有効活用(イベントや町民が欲しい情報の発信)
- (b) 子ども連れて来られる図書館
- (c) 公園の掃除大会
- (d) JR山崎駅の駅舎のリニューアル

c しごと (農商工産業振興・観光・就労)

- (a) 道の駅で特産物を売る
- (b) 商工会議所主催のスタンプラリーの開催
- (c) 道の駅やサービスエリアにおける
- (d) 足湯に入れる

資 料

ワークショップAグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

【災害】

- ・ひと目で防災の状況がわかる表示があちこちにある
- ・備蓄品の充実
- ・備蓄品を学校に増やす
- ・体育館にエアコンがほしい

【道路・交通】

- ・道が明るく夜でも安心
- ・山崎駅と大山崎駅をつなぐ
- ・山道の整備
- ・歩道が広い！！自転車道がどこにもある
- ・駅前が発展するとよい
- ・町内乗り放題のバスがある
- ・歩道が狭くてヘボイ
- ・JR山崎駅のウラ側、ガタガタ道を歩きやすく

【あそび場】

- ・子どもがうじゃうじゃ遊んでいる
- ・さかながいる公園
- ・水分補給できる場所があるとよい
- ・公園の整備
- ・公園に水が流れるとよい
- ・ボールがつかえる公園
- ・夢ほたる公園にイラストを書いてボールをあてないようにする
- ・バスケットゴールがあるといいな

【観光】

- ・観光客に街がわかりやすくなる

【学校】

- ・学校にエアコンがほしい

- ・二市一丁で協力
- ・体育館を使える日を増やしてほしい
- ・小・中学校の体育館に冷暖房をつけてほしい

【買い物】

- ・171号線沿いに便利・楽しいイオンモールなどできれば
- ・スーパーの増加
- ・デリバリーが届くように
- ・歩いて買いに行けるお店がふえる

【未来】

- ・京都府内で一番有名に！
- ・プロスポーツチームが出来ている！
- ・大山崎体育館をダイハツアリーナにする

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

a 《強み》(大山崎町のいいところ・自慢できることなど)

- ・大阪まで30分 京都市内まで20分
- ・大阪・京都へのアクセスが良い
- ・ゴルフ場に行きやすい
- ・文化的な所が多い
- ・小学校で文化をならう
- ・自然豊かで交通の便が良い
- ・山・川、自然が多い
- ・学童保育の充実
- ・保育所がしっかりある
- ・教育がコンパクト

b 《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

- ・学校がえらべない
- ・道がせまくガタガタ
- ・役場に勤めている方が続かない(何でやめるの?)
- ・フォトスポットの少なさ 山、川
- ・まちのイベントがない
- ・避難所になる体育館に毛布など備蓄品が充実していない(水に浸かるので別の場所にある)

- ・歩道がせまくガタガタ 車いすが通ることが難しい
- ・町会議員多すぎる
- ・天王山の頂上に眺望がない
- ・警察の取り締まり厳しく（交通マナー）
- ・ホームページがみにくい
- ・山に歴史を感じられる場所

(ウ) テーマ3 3つの視点（ひと・まち・しごと）ごとの取組・アイデア

a ひと（福祉・子育て・教育・健康・医療）

- ・図工など自分で考える授業
- ・他の地域（大阪など）を学ぶ
- ・総合病院をつくる
- ・介護施設が少ない→増やしてみんなが行きやすい場所をバランス良く作る
- ・女性議員を増やす
- ・日本一働きたい役場
- ・旅行券の配布
- ・役所のみなさんのやりがいアップ
- ・各専門集団（スポーツ、英語）
- ・大人の勉強する所を作る
- ・乙訓一の教育集団に

ひと まち 共通

- ・町の専門性、強み

b まち（コミュニティ・文化・自然・防災・安全・都市基盤・まちづくり）

- ・バラバラの図書館を1つの充実した大きい図書館にする
- ・コワーキングスペースのある図書館
- ・ドリンクバー・サントリー、スタバ、(つたや)、図書館・複合施設
- ・最上階レストラン
- ・ホール ピアノ ガラスがない
- ・複合施設
- ・自習室 みんなでつかえる 広め
- ・もうかる役場、モールと一体化
- ・防災センター
- ・避難場所の認知
- ・町民全員入れるシェルター

- ・広報のイベント掲載
- ・宣伝カーでの宣伝
- ・広報の強化←ニュースがない
- ・広報にイラスト写真の掲載
- ・まつりのよびかけ
- ・こども広報を作る
- ・空き家の利用方法を考える
- ・ならえる場所
- ・プロスポーツの開催

c しごと（農商工産業振興・観光・就労）

- ・まちの観光案内板（外国語対応）ぱっと見た時にわかりやすいマップ
- ・スマホですき間時間に働ける所をさがせる（タイミーなど）
- ・観光向けフォトスポットがすぐわかる案内板
- ・大山崎町で映画をつくる
- ・高級住宅街をつくる
- ・すごくでかい遊具
- ・道の駅（マクセル）
- ・道の駅、温泉 市役所内につくる
- ・商工会の働きが弱い
- ・大山崎町を代表する会社とのコラボ
- ・河川敷をもっと充実

まち しごと 共通

- ・空き地を町が買って自習室などをつくる
- ・観光センターみたいなもの
- ・バエスポット
- ・サイクリングロードからの引き込み
- ・本屋がない

ワークショップBグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

【都市基盤】

- ・人口が増えれば良いと思う
- ・JR山崎駅を発達してほしい
- ・コミュニティバスを増やしたほうが良い
- ・歩道など道路が通りやすい
- ・ウォークアブル
- ・ベンチがふえたら
- ・子が元気に走りまわる

【商業】

- ・スーパーが増えれば良い
- ・スーパーがにぎわっている
- ・小商いが増えるとよい

【自然】

- ・川で遊べる
- ・天王山に登れる（整備）
- ・自然が残る→里山
- ・田畑が増えている
- ・花あふれる町

【子ども】

- ・子育てがかかわらずしやすい
- ・高校ができている

【子ども・コミュニティー】

- ・子どもの擬似議会
- ・文化施設残っている
- ・コミュニティーがたくさんある
- ・図書館がほしい

【その他】

- ・役場の人のアンケートが良くなっている
- ・安全・治安がもっと良くなる

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

a 《強み》(大山崎町のいいところ・自慢できることなど)

- ・大阪、京都どこでも行きやすい来やすい
- ・交通(車)の便よし
- ・人が増えている
- ・天王山さんぽできる山
- ・里山
- ・自然に恵まれている
- ・山と川近い
- ・大山崎音頭を皆おどれる
- ・歴史で有名
- ・文化
- ・公立子育て 保育所 学童
- ・おもしろいお店多い
- ・子育て コミュニティー 強め
- ・新しい公民館 図書館
- ・治安

b 《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

- ・文化財あるのに文化面ヨワイ
- ・特産ない?
- ・知名度低い
- ・働く場所があまりない
- ・バス 土日ない…
- ・道せまい
- ・ATVK(ポテンシャル)
- ・学校にいけない子たちの支援ヨワイ
- ・女性支援ヨワイ
- ・ジェンダーヨワイ
- ・田畑が減っている
- ・若い世代の町に関わる人少ない
- ・テナント少ない

- ・町長と議会の関係

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと) ごとの取組・アイデア

a ひと(福祉・子育て・教育・健康・医療)

【教育】

- ・人権(主権者)教育してほしい
- ・教育(塾)などあれば
- ・先生(小学校)をふやしてほしい 力のある先生がよい
- ・小学校の取組をポジティブにしてほしい
- ・劇場があったらよい
- ・探究塾学習
- ・社会教育 大人向けの事業
- ・中高年の拠点
- ・高齢者大学

【福祉・子育て】

- ・女性の相談員 LINE 相談窓口
- ・保育士、学童支援員の正職化で保育内容強化!

b まち(コミュニティ・文化・自然・防災・安全・都市基盤・まちづくり)

【文化】

- ・芸術祭
- ・文化祭(写真、絵、造形物など)なんでも
- ・有名な祭りを作ってほしい

【まちづくり】

- ・町民活動推進センター
- ・住民参加型予算でアイデアを直に募集する

【移動】

- ・バス自動運転
- ・バス土日運行
- ・ダイハツから軽自動車シニアカーレンタル

【自然】

- ・里山整備
- ・貸し畑

【さんぽ】

- ・ベンチをあちこちに置く施策
- ・歩道広く

c しごと（農商工産業振興・観光・就労）

【働き方】

- ・食堂（夏休みなどの期間）
- ・コワーキング
- ・リモートワーク
- ・就労支援の講座（リモート特化）
- ・小商い支援

【観光】

- ・観光センターを作ってほしい
- ・産業観光ツアー
- ・イベントを告知するHPのページをつくってほしい
- ・特産・土産ならでは
- ・特産 アイスコーヒー
- ・専門学校（お菓子など）

ひと まち 共通

- ・さんぽしたくなるコースの整備（山・町（街））

まち しごと 共通

- ・文化施設ツアー
- ・マルシェ支援

ワークショップCグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような大山崎町になってほしいか

【子育て】

- ・子どもが安心して過ごせる場所があるまち
- ・子どもの習いごとが多いまち

【生活】

- ・水道から出る水が飲み続けられる

【自然】

- ・花がきれいなまち

【交通】

- ・安心して生活できる
- ・車の速度が遅いまち
- ・自宅、阪急・JRの駅までの交通手段が充実している
- ・道路が整備されて人が通行しやすい

【災害・防災】

- ・災害に強いまち

【施設】

- ・サービスエリア
- ・道の駅に類似する施設
- ・老若男女が集える場の充実
- ・エレベーターのある公民館
- ・役場で足湯ができるとよい
- ・自習ができる図書館
- ・休みの日も1日大山崎町内で楽しく過ごせるまち
- ・公園が楽しいまち

【まちづくり】

- ・他に右ならえない大山崎の良さを活かした町づくり
- ・大山崎の良さを町民が理解できるようにしたい
- ・マップをつくり良いところを発信できるとよい

【医療】

- ・医療、病院、歯科、耳鼻科、眼科がある

(イ) テーマ2 現在の大山崎町の強みと弱み

a 《強み》(大山崎町のいいところ・自慢できることなど)

- ・水道料金が高いところ
- ・水道の水が飲める
- ・町営の保育所が充実している 子育てしやすい
- ・大阪、京都に近い
- ・JR、阪急、高速 交通の便がよい
- ・歴史がある
- ・阪急にもJRにも近い
- ・地価が安く通勤、通学に便利
- ・土地が安い
- ・非行に走りやすい施設がない(パチンコ店など)
- ・山が見える
- ・天王山
- ・保育所、学童の在り方

b 《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

- ・タイムズ(ガレージ)が少ない
- ・空き家が速く売れるように
- ・大山崎の良さをクロス町政
- ・川遊びができない

◎町民の意見を聞くといいながら聞いてくれない

- ・公園が古い
- ・公園の遊具を入れ替えても整備がされない
- ・夜道が暗い…
- ・舗道がガタガタしていてせまい
- ・防犯カメラの設置が少ない

(ウ) テーマ3 3つの視点(ひと・まち・しごと)ごとの取組・アイデア

a ひと(福祉、子育て、教育、健康・医療)

- ・保育所の長時間化
- ・保育所・学童での経験

- ・皆がオープンに生活できる
- ・集える場を活用したコミュニケーション
- ・シルバー人材センター 若い人の登録
- ・人材の有効利用
- ・声をかけ合って子育てができるまち
- ・積極的な参加を応援する
- ・専門的知識を持つ人材の活用

||

- ・ボランティア

b まち（コミュニティ・文化・自然・防災・安全、都市基盤・まちづくり）

- ・ラインの有効活用（イベントの情報発信）町民がほしい情報
- ・ラインの登録者数を増やす（皆様に入ってもらおう）
- ・ライン登録につなげる取り組み（特典など）
- ・不審者情報の提供
- ・地域のことわかる情報発信 分野にしばられず
- ・町内会クリーンアップ作戦
- ・しゃべってもいい図書室
- ・子ども連れて来られる図書室
- ・近所とのつながりを充実させる
- ・JR山崎駅→駅舎のリニューアル
- ・JR・阪急乗り換えの利便性向上
- ・駅の自転車置場を増やす
- ・自然遊びの充実
- ・天王山の整備
- ・近所の人とのつながり（ライン等を活用）
- ・公園ごとに担当を付ける
- ・公園の掃除大会
- ・公園、駅前とかに大きな花木（桜とか？）
- ・川遊び
- ・向こう三軒両隣精神
- ・町内会のイベントの情報の発信（ライングループの活用）
- ・町内会を抜ける人が多い
- ・町内会（自治会）に加入による情報の入手
- ・ゆるい報告発信（地域の催し物など）

c しごと（農商工産業振興・観光・就労）

- ・足湯に入れる
- ・雇用の拡大
- ・道の駅・サービスエリア
- ・道の駅で特産物を売る
- ・商工会議所主催 スタンプラリー

